

千葉県におけるピックルボールの

普及状況と今後の課題

- 千葉県ピックルボール協会 高橋史匡
千葉県ピックルボール協会 吉原哲平
千葉県工業大学 金田晃一

歴史

1965年

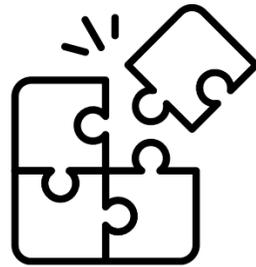
アメリカで誕生



ルール整備など

1980年代

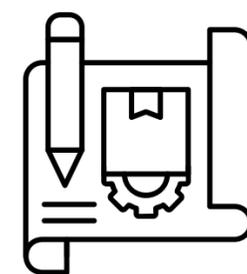
競技の普及



USAピックルボール協会 (USAPA) 設立

2010年代

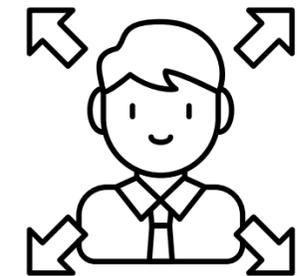
国際的普及



全米オープンピックルボール選手権

2020年代

プロリーグ



全米オープンピックルボール選手権

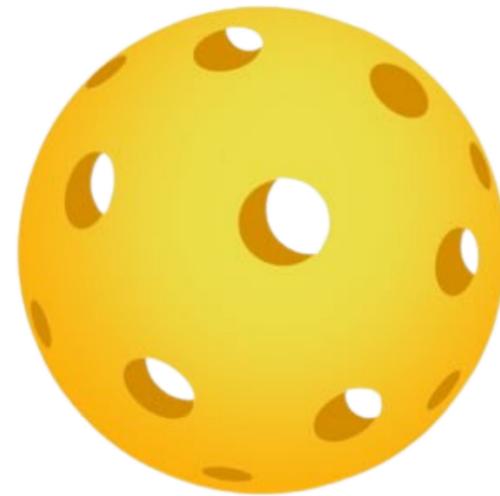
2032年のオリンピック競技の候補にも挙げられている

用具

テニス、卓球、バドミントンの要素を組み合わせたラケット競技



パドル



ボール



ネット

体育館ではバドミントンネットの転用も可能

基本ルール

得点方式: 11ポイント先取

採点: サーブ側のみポイント獲得可能

ツースタンド

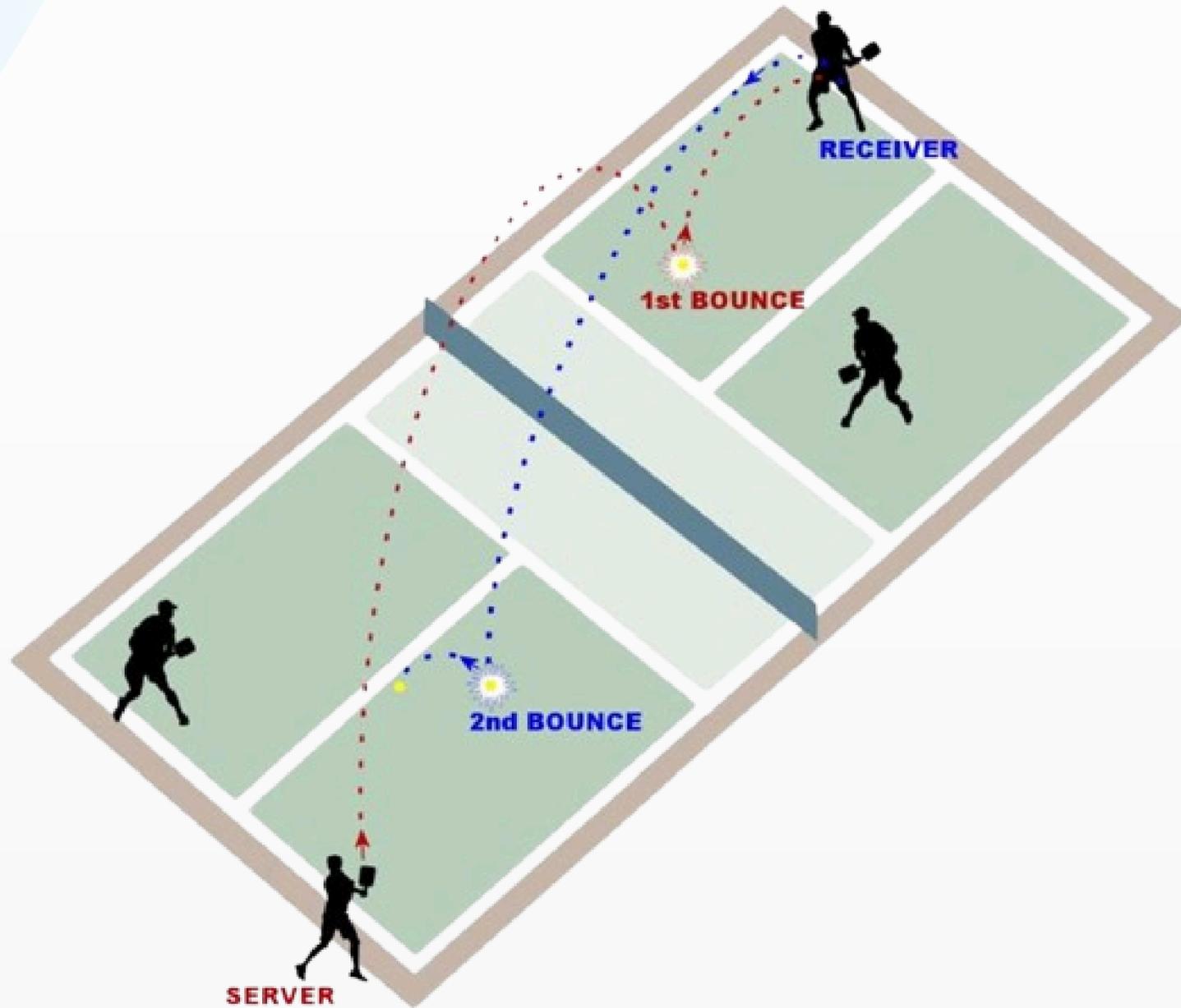
レシーブが打たれた後にサーブ側は必ずボールを一度地面にバウンドさせてから打ち返さなければならない

ノーボレーゾーン

ネット付近の約2.1mのエリアでボレー禁止

アンダーサーブ

サーブはアンダーハンドで打つ



特徴

なぜ世界的に急成長しているのか？



簡単に始められる



コミュニケーション
ンが取れる



年齢や運動能力を
問わず楽しめる



適度な運動になる

日経トレンディ「2025年ヒット予測ベスト30」14位にランクイン

世界における普及状況

2021年普及国数

約 51 か国

プロリーグ発足

アメリカ、カナダ、
オーストラリア、
インド、ベトナム



画像参照：[the dink](https://www.the-dink.com/)

アメリカにおける普及状況

4年連続で最も成長しているスポーツ

2024年競技人口



1,980万人

参考出典：2025 Sports, Fitness, and Leisure Activities
Topline Participation Report

2024年施設数

15,910ヶ所

参考出典：2024 USA Pickleball Annual Facts & Highlights

2024年コート数

68,458コート

参考出典：2024 USA Pickleball Annual Facts & Highlights

2024年クラブ数

13,969クラブ

参考出典：Best Pickleball Clubs In The US: Where To Play?

2024年大会開催数

142大会

参考出典：2024 USA Pickleball Annual Facts & Highlights

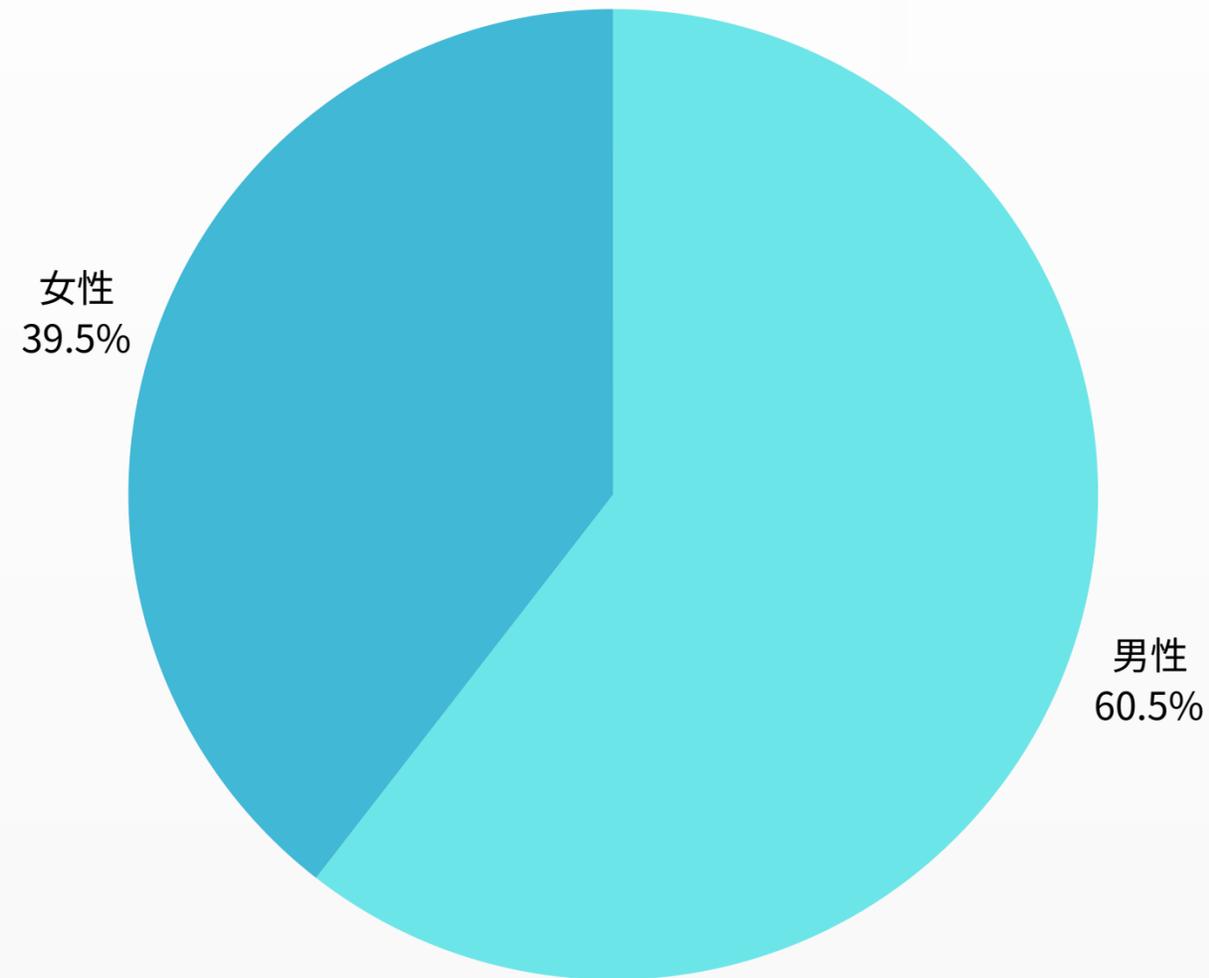
指導者数

1万人以上

参考出典：PPR-Certified Coaches Lead Global Adoption of DUPR Coach

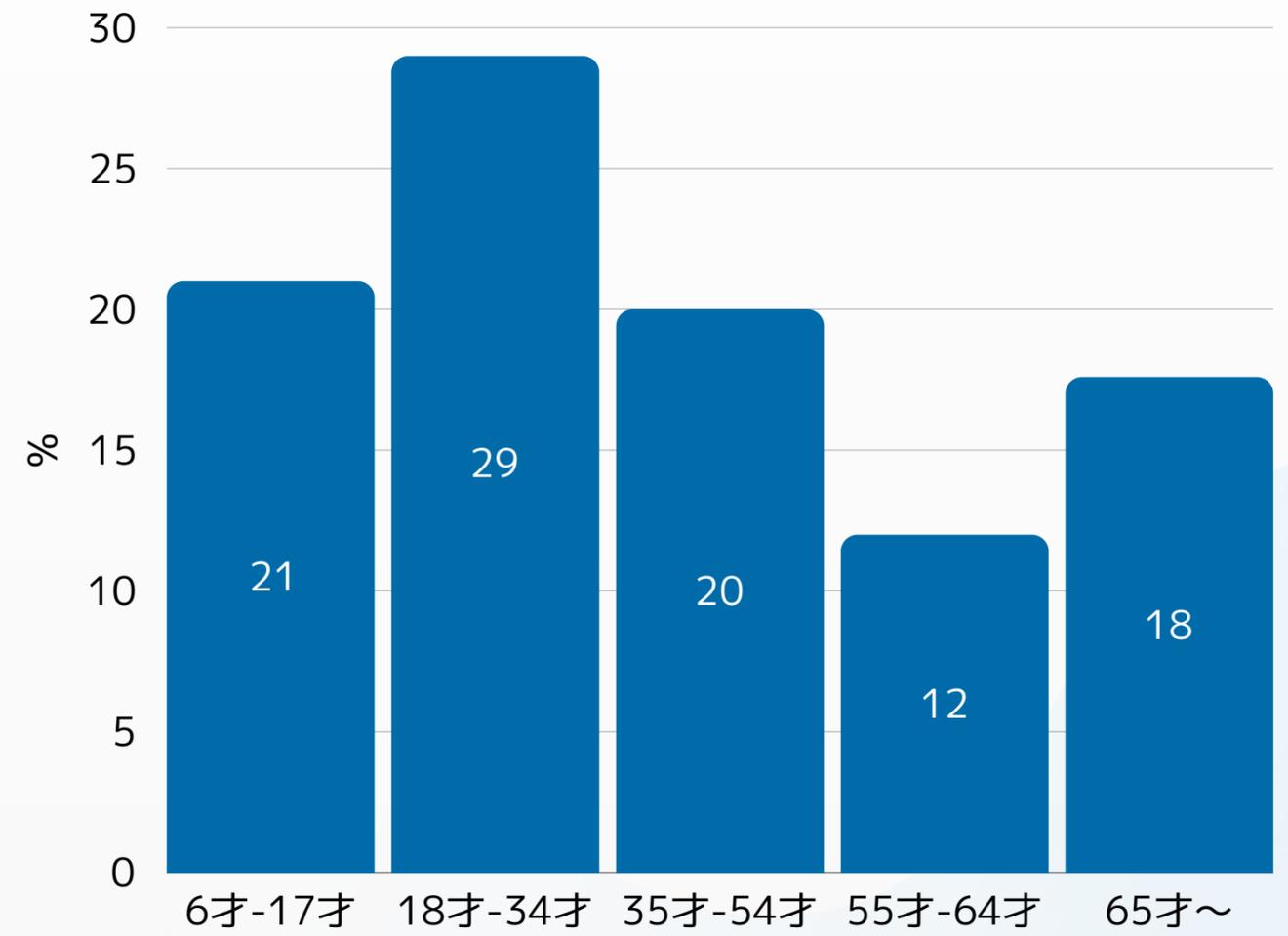
アメリカにおける普及状況

性別



参考出典：Pickleball Statistics 2025 By Game, Players, Regions

年代別



参考出典：Pickleball Statistics 2025 By Game, Players, Regions

日本における普及状況

2024年競技人口

約1万人

参考：日本ピククルボール協会公表

2024年施設数

不明

2024年コート数

不明
(30コート未満)

2024年クラブ数

不明
(50未満)

2024年大会開催数

9大会

2024年指導者数

不明
(30人未満)

参考：日本ピククルボール協会・日本ピククルボール連盟HP

日本における普及状況

歴史

2015年 任意団体として日本ピックルボール協会（JPA）が設立

2017年 長野県佐久市に日本初のピックルボール専用屋外コート完成

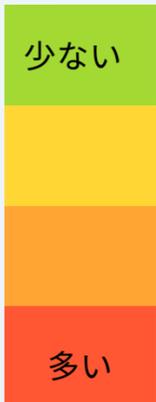
2022年 茨城県つくば市で全国大会「2022 Pickleball Tsukuba Open」が開催

2024年 一般財団法人ピックルボール日本連盟（PJF）が設立

東急リゾートタウン浜名湖に日本初のUSA Pickleball公認屋外専用コート設置

TBSと三井不動産が共同で普及プロジェクト「Pickleball Park」を開始

PJF（ピックルボール日本連盟）主催で国内初の国際大会を開催



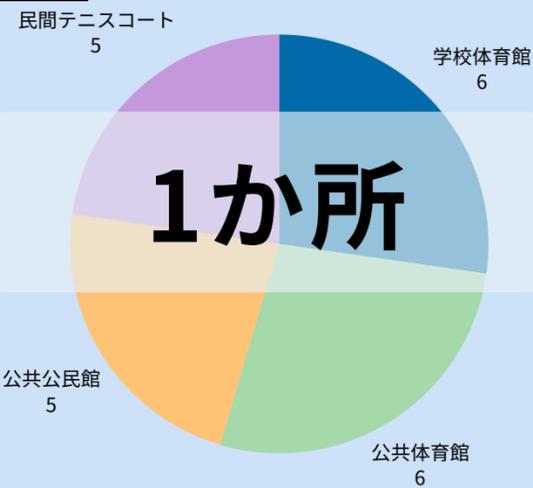
千葉県における普及状況

競技人口



参考出典：千葉県ピククルボール協会調査

施設数



参考出典：千葉県ピククルボール協会調査

コート数

2コート

参考出典：千葉県ピククルボール協会調査

クラブ数



参考出典：千葉県ピククルボール協会調査

大会開催数

なし

参考出典：千葉県ピククルボール協会調査

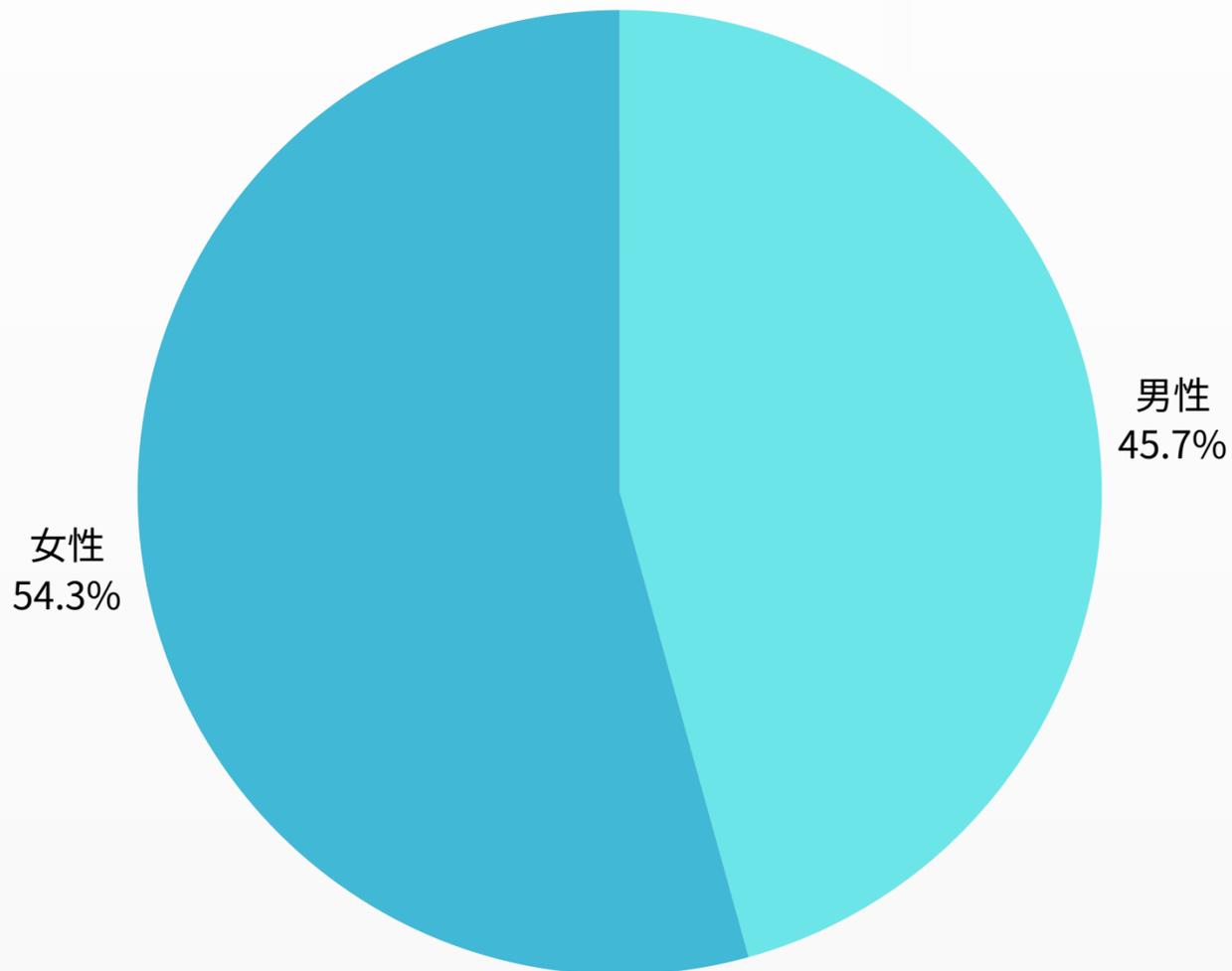
指導者数

2名

参考出典：千葉県ピククルボール協会調査

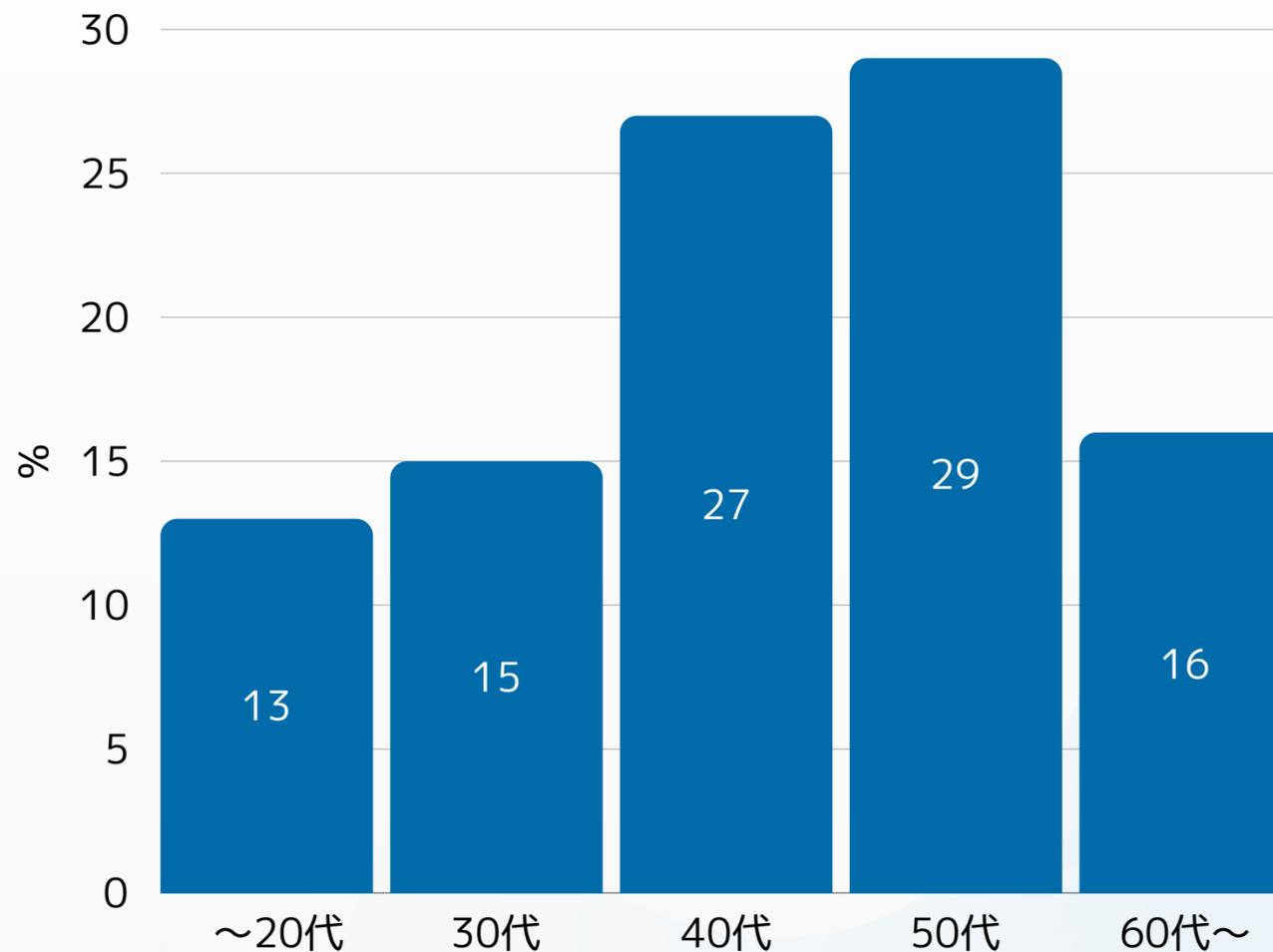
千葉県における普及状況

性別



参考出典：LINE公式アカウント登録者数分析データ

年代別



参考出典：LINE公式アカウント登録者数分析データ

アメリカ・日本・千葉県の普及状況比較

項目	アメリカ	日本	千葉県
普及率 (対全人口比率)	4%	約 0.008%	約 0.011%
施設数 (競技人口1,000人あたり)	約1.17施設	不明	約 2.86 施設
専用コート数 (競技人口1,000人あたり)	約5.03コート	約3コート	約 3.1 コート
クラブ数 (競技人口1,000人あたり)	約1.03クラブ	約5クラブ	約 21.4 クラブ
指導者数 (競技人口1,000人あたり)	約0.74人	不明	約 2人
年間大会数 (競技人口10万人あたり)	約0.104回	約0.9回	0回

アメリカ・千葉県の普及状況比較

年齢層別参加割合

	アメリカ	千葉県
若年層 (~34歳)	50.0%	28.0%
中年層 (35~54歳)	20.4%	56.0%
高年齢層 (55歳以上)	29.6%	16.0%

参加者の男女比率

	アメリカ	千葉県
男性	60.5%	45.7%
女性	39.5%	54.3%

千葉県の問題点抽出

項目	千葉県	アメリカ	問題カテゴリ
競技人口が少ない	0.011%	4%	人口規模
コート数が少ない	3.1 コート	5.03コート	環境
大会数が少ない	0回	0.104回	環境
男性の実施率が低い	45.7%	60.5%	人口規模
若年層の参加率が低い	28.0%	50.0%	人口規模
高年齢層の参加率が低い	16.0%	29.6%	人口規模

課題と解決策①人口規模

競技人口が少ない

- ウェブサイトとSNSで活動内容やイベント情報を積極的に発信する
- 地域の公民館、学校、図書館、商業施設などにポスターやチラシを掲示する
- 地域のお祭りやイベント、商業施設で無料体験会やデモを実施する
- 地元の新聞、ラジオ、テレビなどのメディアに取材を依頼する
- 市町村のスポーツ振興課と連携し、広報活動を共同で行う

男性の実施率が低い

- 男性のロールモデルとなるような経験者や指導者を紹介する
- 競技の戦略性や運動強度など、男性が興味を持ちやすい側面を強調する
- 体力、経験などを解消するための情報を提供する

若年層の参加率が低い

- 小学校、中学校、高校の部活動への競技導入を積極的に働きかける
- 体育の授業や課外活動で競技体験の機会を提供する
- 学校の先生向けに競技に関する研修会や説明会を実施する
- ジュニア向け大会やイベントを企画開催し、達成感を味わえる機会を提供する

高年齢層の参加率が低い

- 競技がもたらす健康効果を具体的に伝え、健康寿命の延伸に繋がることを強調する
- 地域コミュニティとの連携を強化し、地域活動の一環として競技を推進する
- 年齢に関わらず長く楽しめる生涯スポーツであることをアピールする

課題と解決策②環境

コート数が少ない

- 既存テニスコート・体育館の共用利用交渉する
- 公園スペースや空き倉庫、駐車場などへ仮設コートを設置する
- 企業スポーツ施設との連携協定を促進する
- 民間企業との連携や、遊休地の活用など、新たな施設整備の可能性を探る

大会数が少ない

- クラブ間の交流会や情報交換会を開催し、連携を促進する
- 地域のスポーツ団体や企業と連携し、共催や協賛を募る
- さらに競技人口を増やすための広告宣伝や周知活動をする

協会の活動実績

人口規模拡大

- 地域イベントへの参画（計2回）
- スポーツ協会・スポーツ推進委員向け研修会（計2団体）
- 小中学校の体育授業での体験会（計4校）
- ホームページ「千葉 ピックルボール」で検索1位
- LINE公式アカウント登録者数600名
- 地域新聞などメディア取材手配
- 普及・参加に関わる情報発信

環境改善

- 民間テニスコートの定期契約（1施設）
- 小中学校の開放施設確保（2施設）
- 団体登録と公共施設の抽選申請（4自治体）
- 船橋アリーナの特例予約で会場貸切確保（年間6回）
- クラブごとの練習日程をデータベース化
- チーム設立サポート受付開始
- 体験会スタッフ向け研修会の実施（1回）

協会の活動予定

1. 小中学校での体験イベントを充実させる

印旛地区小中体育連盟の研究校（大室台小）にてクラブ活動導入予定。
ジュニアクラブの設立、全国ジュニア大会を開催予定。

中学と高校での部活動導入や
大学でのサークル設立

2. 行政や民間企業と協力して社会人への普及イベントを検討

八街にて専用コート100面を民間企業が開発予定。
佐倉市商工会議所のスポーツ事業のテーマで採用予定。

施設・コートの設置にも
結びつく可能性

3. 障がい者向け団体と協力した普及活動の推進

パラスポーツとしての普及活動に協力依頼中

- ・ 齊藤まゆみ教授（筑波大学アダプテッド体育・スポーツ学研究室）
- ・ 丸山弘道コーチ（元車いすテニスナショナルチームヘッドコーチ）

パラ・生涯スポーツとして
導入に結びつく可能性

Thank you!

ご質問などありましたら
お気軽にご連絡ください。

まずは一度体験してみましよう！